

「シネ」ばよかった

投稿者 川崎 富雄

私の購読新聞は新潟日報ですが時々何と無く懐かしさを思い出させる読者の投稿
作文記事を見ることがある。 ユーモアに感じたりそうだったよなと思ったりする。

その一例

ある日行事のあったお寺から参拝を済ませたお年寄りが列を作って出てこられた。
ちょうど子供の下校時間と重なり仲間の一人が「このばあさんども」といった。
するとその中のお一人が「ねらも、うんま、そんが、なんろ」[お前たちも、すぐ、そんなに、
なる]といわれた。

その一例

ある医師、で医学博士、の方が講演された時のお話。
ホールには「ねらいや、ねまれや」と大きく文字が掲げられていたそうです。
その後、家に帰り家族に意味を聞いたところ、「一言も分からない」と言ったそうです。
[お前さんたちもここに来て、座りなさいや] * * * * 我々にわすぐわかりますよね。
この投稿記事とは話は異なりますが、

今から数十年前の古い話になりますが、通勤バスの中のお話。
深夜勤で朝の帰りバスは路線の途中乗車であった。始発停留所か何処かの停留所から
数人のおなご衆が乗り併せた。其の中で若干威勢のいい女の一人が 「ねら、ねら」
「ねら何処で落ちる」と言った 朝市か何かの買い出しがビックリしたものであった。

その一例

題字の「シネ」ばよかった」であるが
古い話で記憶も薄れていますが後悔した時、等良く使った言葉ではなかったかとおもう。
投稿記事の内容は車のヤイヤ交換での話して作業してたら突然降雨にあったらしい
作業中の奥さんらしき人が「シネ」ばよかったねと喋ったその会話を聞いた第三者の投稿
では無かったかとおもいます 「シンダイシャタノム」と同じような言葉でしょうか？

方言には何か懐かしさを感じるころがある
俺だけだろうか？